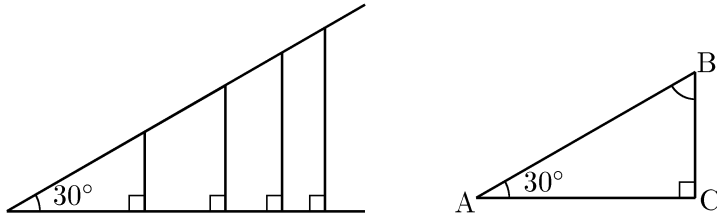


● 三角比



「 $\angle A$ が 30° の直角三角形」と言っても、色々な大きさがありうるが、全てに共通する性質は、右上図において

$$BC : AC : AB = \square : \square : \square$$

となる、ということである。

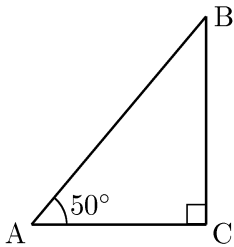
したがって、三角形の大きさに関係なく、

$$\frac{BC}{AC} = \frac{\square}{\square} \text{ 分数}, \quad \frac{BC}{AB} = \frac{\square}{\square} \text{ 分数}, \quad \frac{AC}{AB} = \frac{\square}{\square} \text{ 分数}$$

$$= \square \text{ 小数}, \quad = \square \text{ 小数}, \quad = \square \text{ 小数}$$

という一定の比をもっている。

これらの分数による3種類の比を順に、 $\tan 30^\circ$ 、 $\sin 30^\circ$ 、 $\cos 30^\circ$ と呼ぶ。



「 $\angle A$ が 50° の直角三角形」については、 30° のときとは違い、 $BC : AC : AB$ は、測ってみないと分からない。

したがって、3種類の比 $\frac{BC}{AC}$ 、 $\frac{BC}{AB}$ 、 $\frac{AC}{AB}$ も、測ってみなければ分からないのだが、測って計算してくれた人がいる。(吉 p.159 の表) この表より、

$$\frac{BC}{AC} = \tan \square^\circ = \square, \quad \frac{BC}{AB} = \sin \square^\circ = \square,$$

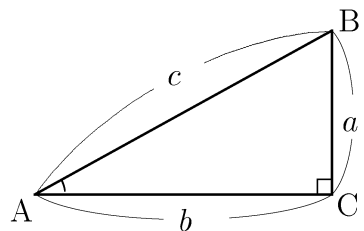
$$\frac{AC}{AB} = \cos \square^\circ = \square$$

以降、 $\angle A$ を、単に A と書き、 A 、 B 、 C に向かい合う辺の長さを、 a 、 b 、 c と書く。

日本語では \tan を **正接**(タンジェント)、 \sin を **正弦**(サイン)、 \cos を **余弦**(コサイン) という。

● 三角比 ●

$$\tan A = \frac{a}{b}, \quad \sin A = \frac{a}{c}, \quad \cos A = \frac{b}{c}$$



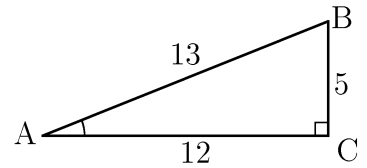
例題 1

(1) $\cos A = 0.8192$ のとき, A は何度か。(吉 p.159 の表を見てよい)

(2) $\sin A = \frac{3}{5}$ のとき, A は何度か。(吉 p.159 の表を見てよい)

(3) $\tan 45^\circ$ はいくらか。(吉 表を見なくても求まる)

(4) 右の図で, $\tan A$, $\sin A$, $\cos A$ を求めよ。また, A はおよそ何度か。



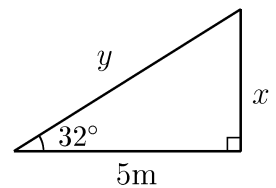
例 1 右の図で, x , y の長さを求めよ。

(解) $\frac{x}{5} = \tan 32^\circ = 0.5299$ (p.159 の表より)

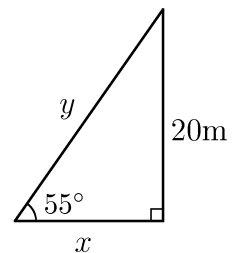
であるから,

$$x = 5 \times 0.5299 = 2.6495$$

2.6495m (答)



例題 2 右の図で, x , y の長さを求めよ。



※**重要** 30° , 45° , 60° については, 測らなくても直角三角形の辺の比が分かるので, 表をみなくても \tan , \sin , \cos は計算できる。

これらの値は覚えておくか, すぐに計算できるようにしておこう。(吉 p.121)

=====

[MEMO]